

毎回参加者からアンケートをとっており、各講義が霊長類の進化研究のなかで、どのような位置づけにあるのか理解が困難であるという意見が多数出された。それをふまえて、今回は江原が各講義の簡単なオリエンテーションを行った。

また、参加者の大部分が毎回同じ顔ぶれであるところから、今回は解剖実習・骨学実習の代わりに飼育実習・野外観察実習を行った。アンケートにも見られるように、好評だったようである。

学位取得者と論文題目

理学博士（課程）（動物学専攻）

広谷 彰：Sociological study of reindeer (*Rangifer tarandus*) in northeastern Finnish Lapland. (北東フィンランドにおけるトナカイの社会学的研究) 1988年11月24日取得。

三谷雅純：Frugivorous primates and their food resource in tropical rain forest: adaptation for optimal foraging. (熱帯雨林の果実食性霊長類とその餌資源：最適採食のための適応) 1988年11月24日取得。

ソロモン=イリガ (Solomon Yirga)：Metrical analysis of the mechanical relationships between the hind limb bones and the major locomotor patterns in anthropoidea. (現生真猿類の下肢構成諸骨の形態とロコモーションパターン間の関連性についての数量解析的研究) 1989年3月23日取得。

大井 徹：Socio-ecological study of wild pig-tailed macaques (*Macaca nemestrina nemestrina*) in west Sumatra, Indonesia. (インドネシア、西スマトラにおける野生ブタオザルの社会生態学的研究) 1989年3月23日取得。

吉久保真一：Species discrimination and classification according to the concept "Rhesus macaque" by rhesus macaques (*Macaca mulatta*). (アカゲザルの、「マカゲザル」概念による種の弁別と分類行動) 1989年3月23日取得。

理学博士（課程）（霊長類学専攻）

中川尚史：Feeding strategies of Japanese monkeys. (ニホンザルの採食戦略) 1989年3月23日取得。

理学博士（論文）（霊長類学専攻）

松沢哲郎：Hierarchy of visual perception in a chimpanzee (*Pan troglodytes*). (チンパンジーの視知覚の階層) 1989年1月23日

理学修士（霊長類学専攻）

井上美穂：Paternity discrimination of a Japanese monkey troop by DNA finger printing. (DNAの多型を用いたニホンザルの父子判定)。

鈴木亮太：Molecular phylogeny of the gibbons. Restriction map analysis of α -globin gene family. (α 様グロビン遺伝子から見たテナガザル属の系統)。

アリ=ガスパール=スマ：The diet composition of Japanese monkeys in relation to their social status. (社会的地位との関係におけるニホンザルの採食戦略)。

中村克樹：Neuronal activities in the amygdala of rhesus monkey during a visual recognition and memory task. (視覚性の認知や記憶に関連したアカゲザル扁桃核ニューロン活動)。